

渡邊ゼミナール

渡邊 隆俊

研究テーマ:経済データを用いて身近な経済問題を考察する

【演習の概要(目的)】

当ゼミでは、上記のテーマにあるように経済データ(経済統計資料)を使って、身近な経済問題を実証的に分析して考察するための基礎を学びます。このための基本的な分析手法として、(1)計量経済学、(2)産業連関分析を中心に学び、実証経済分析に取り組みます。

これら2点を簡単に紹介すると、前者は経済理論に基づいて経済モデルを構築し、これに経済データを用いて統計的に推定と検定を行う分析手法です。この推定結果を基礎として、シナリオに基づくシミュレーションや経済的政策の評価などの経済分析が行えます。

一方、後者は、「産業連関表」と呼ばれる経済統計を用いて、経済構造や経済波及効果の分析を行うものです。「産業連関表」は、ある地域経済(例えば、国や県など)において一定期間(通常1年間)に産業や家計、政府、海外といった経済主体間の財・サービスの循環を行列形式で体系的に表した統計表です。この統計表を用いることで、簡単な統計処理によって経済構造を分析できます。さらに、均衡生産量決定モデルと呼ばれる分析モデルにシナリオを当てはめれば経済波及効果が計測できる優れたものです(さらに上記(1)と(2)について知りたい方はWebで「計量経済学」や「産業連関表(分析)」と検索してみてください)。

渡邊ゼミでは、これら2つの実証経済分析の手法の基礎をマスターすること、そして、両者あるいはどちらかの分析手法を用いて、皆さんの興味ある経済のトピックスについて研究し、経済構造や経済問題の解明などに主体的に取り組んでもらうことを目的とします。

【内容・スケジュール】

2年次秋学期の「専門演習Ⅰ」では、最初に(1)研究活動の基礎(「プレゼンテーション」、「論文(報告書)作成方法等)」について学びます。次に(2)実証経済分析の基礎となる経済データについて学びます。この(2)については、「主体的な学び」となるよう、(1)に基づいて個人ないしはグループでの調査・報告を行ってもらいます。

3年次の「専門演習Ⅱ」では、春学期は「産業連関分析の基礎」をマスターしてもらいます。これと並行して3年次春学期では「計量経済学A」の履修を通じ、計量経済学の基礎を身に付けてもらいます。秋学期は、「卒業論文執筆」のための基礎固めとして、論文テーマ選定・先行研究の渉猟と報告を行ってもらいます。4年次「専門演習Ⅲ」では、卒業論文完成に向けて研究活動を行ってもらいます。なお、原則全員に卒業論文を執筆してもらいます。

【評価方法】

授業への参加度、授業態度、報告内容によって総合的に評価します。

【教材】

経済データの利用、経済分析のための文献などを利用します。具体的には授業内で適宜指示します。

【備考】

- 経済実証分析は経済データの収集を含めPCを用いて行います。PCの利用や経済統計処理などの基礎を修得するために、いくつかの「資格取得」にも挑戦してもらいます。これらの基礎も一緒に勉強していきましょう。
- ゼミ見学会、選抜方法など、より詳細なゼミの紹介は、Teamsの「渡邊ゼミ募集2025」チームにアクセスしてください。チームコードは、wpiltotです。
- 興味のある方は、ぜひゼミのWebサイト <http://www.agu.ac.jp/~twata/> にもアクセスしてください(右のQRコードからもアクセスできます)。

